



子ども達にとって CLIMB® プログラムの意義
Children's Lives Include Moment of Bravery
 子ども達はいざという時勇気を示します

子ども達は同じ様な経験をしている子ども達とすぐに仲良くなります。
 悲しくなったり怖くなったり、時には怒りを感じてしまうのも普通のことであり、
“自分だけではない”ということを学んでいきます。
 プログラムの中の活動は、子ども達が気持ちを安全な方法で表現し穏やかに過ごすことに役立ちます。

【活動の内容】 以下のプログラムを、参加される皆様に応じて組み合わせて行います。

テーマ	気持ち	活動内容
自分についてみんなに知ってもらおう	幸せ 楽しい	自己紹介をしよう
“がん” や “がんの治療” について知ろう	混乱	キワニスドールで 点滴体験をしてみよう
悲しい気持ちについて知ろう	悲しみ	お面作りをしよう
自分が持っている強さに気付こう	怖い 不安	強さの箱作りをしよう
怒りの気持ちを表現して、上手に対処してみよう	怒り	怒りバイバイさいころを 作ってみよう
お父さん、お母さんとのコミュニケーション☆	気持ちを 伝える	お見舞いカードを作ろう さよならパーティー



【CLIMB®子どもの会の様子】

◎会には、お約束があります。

「自分のことを知ってもらおう」
 「他の人がここで話した事ことは
 外で話さないようにしよう」、
 「一人ひとりの気持ちや考えを
 大事にしよう」、など。



◎CLIMB®は安全で自由な場所。

お兄さんやお姉さん、お友達と
 お話しながら過ごします。

◎工作も楽しみながら。

そばには見守るお姉さん☆
 難しい時は一緒にしましょう。

◎親子は別々のお部屋で過ごします。親の会では、親同士、医療者を交えて気持ちを共有します。

【参加された親子からの感想】

ぜんぶたのしかった。またクライムにい
 きたい。(小学校低学年 男の子)

親の会では「自分だけではないんだ」と感じ、大人だけで話せ
 て良かったです。治療や日常、子どものことを「誰かに話した
 かったんだ」と気づきました。(治療中 40代のお母さん)

てんてきをさわったことがたのしかった
 です。おにいさんやおねえさんがやさし
 くしてくれて安心しました。
 がんはうつらないと初めて知りました。
 (小学校中学年 女の子)

私も子どもたちも、ありのままを受け入れて、自分をさらけ出
 して暮らせるようになりました。(治療中 40代のお母さん)

一番最後のお母さんに手紙を
 書いたのがよかった。ふだん
 は恥ずかしくて言えない事も
 いえたのでよかった。
 (小学校高学年 女の子)

子どもも父親の病気のことを前よりも理解し、また自分と同じ
 ような子が他にいるんだということをつかんだ感じでした。が
 ん治療の家族を支える立場として、気持ちが楽になりました。
 (お父さんが治療中 40代お母さん)

